

「千葉市中央区80・50を考える会」

令和5年度活動報告

令和6年1月27日

目的

8050問題を抱えるご家庭を早期発見し、
地域で支える仕組みづくりを行う



1. 困りごとを相談できる地域づくり
2. 問題解決のための支援体制づくり

参加メンバー

- ・千葉県こころの健康センター
- ・千葉県あんしんケアセンター
- ・千葉県ひきこもり地域支援センター
- ・中央区障害者基幹相談支援センター
- ・民生委員児童委員協議会
- ・千葉県生活自立・仕事相談センター中央
- ・千葉障害者キャリアセンター
- ・千葉県障害者グループホーム連絡協議会
- ・ちば地域若者サポートステーション

令和5年度活動計画（3年目）

1. 困りごとを相談できる地域づくり

①市民向け講演会（継続）

②町内自治会・民生委員を対象にした地域勉強会（継続）

2. 問題解決の支援体制づくり

①専門職向け研修会の実施（継続）

ケアマネージャー・相談支援専門員向けの勉強会

②支援につながっていない人への対応を検討

令和5年度 活動実績

活動実績(4月～10月)

第1回 4月 21人 今年度の活動内容、講演会の検討

第2回 5月 13人 事例検討、講演会の検討

第3回 6月 12人 事例検討、講演会の検討

第4回 7月 16人 専門職向け勉強会打ち合わせ

7月28日 92人 専門職向け勉強会

【8050問題の基本理解と支援者連携について】

第5回 8月 18人 講演会の検討

第6回 9月 18人 講演会準備

9月30日 152人 市民向け講演会

【8050問題を考える会講演会 それぞれのきっかけ～事例をもとに～】

第7回 10月 15人 講演会振り返り

活動実績(11月～3月)

第8回 11月 16人 今年度の活動内容、講演会の検討

第9回 12月 13人 事例集作成に向けての話し合い

R6年1月11日 17人 民生委員向け勉強会

第10回 1月 13人 事例集作成に向けての話し合い

2月8日、9日、10日 民生委員向け勉強会

第11回 2月予定 事例集作成に向けての話し合い

第12回 3月予定 3年間の振り返りと来年度以降の活動について

1. 困りごとを相談できる地域づくり

入場無料
どなたでも

8050 問題も考える会 講演会

それぞれのきっかけ ～事例をもとに～

日時
2023年
9月30日(土)

受付開始 13:00～
講演会 13:30～16:20
個別相談会 16:30～16:45

会場
・千葉市役所 新庁舎2階
XL会議室(201・202・203)
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号
できるだけ公共交通機関をご利用下さい。
市役所Pは有料となります。

・オンライン配信 オンライン配信あり
(要申し込み)

申し込み先・問合わせ先
電話 … 043-445-7733
FAX … 043-445-7785
メール … chibachuo8050@gmail.com
お申し込みフォーム … 

当日申し込みOK

プログラム

挨拶 13:30～13:40

講演会

第1部 [13:40～14:40]
つながるきっかけ
～事例をもとに～
千葉市ひきこもり地域支援センター所長
平田 智子氏

第2部 [14:55～15:25]
8050問題とスティグマ
～なぜ支援を拒否するのか～
医師・千葉市こころの健康センター所長
稲生 英俊氏

第3部 [15:40～16:20]
支援者座談会
「支援のターニングポイント」

個別相談会 16:30～16:45
協力団体スタッフが直接お話を伺います。

市民向け講演会(9月)

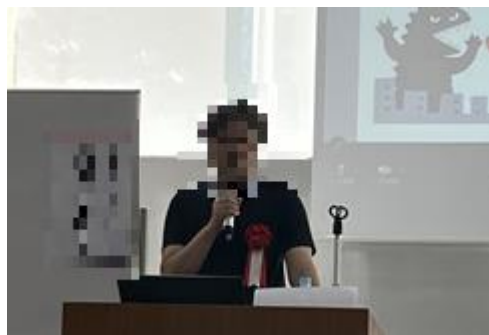
8050問題を考える会講演会 それぞれのきっかけ～事例をもとに～

第1部 つながるきっかけ～事例をもとに～
千葉市ひきこもり地域支援センター 平田智子氏

第2部 8050問題とスティグマ～なぜ支援を拒否するのか～
千葉市こころの健康センター所長 稲生英俊氏

第3部 支援者座談会 支援のターニングポイント

参加人数など



◆ 参加人数

会場88人、オンライン 64人

【合計152人】

◆ 個別相談

千葉県ひきこもり地域支援センター 2人

中央区障害者基幹相談支援センター/千葉障害者キャリアセンター 1人

②地域勉強会

・R6年1月 松波地区 民生委員向け勉強会

参加者 16名

・R6年2月 弁天地区、東千葉地区、登戸地区、椿森地区などと連携予定

2. 問題解決のための支援体制づくり

千葉市中央区8050を考える会 主催

支援者向け研修

8050問題の基本理解 と支援者連携について

2023年7月28日(金)

13:30~15:30

<講師>

大正大学名誉教授 近藤直司先生

対象:あんしんケアセンター職員・ケアマネージャー
各区基幹センター職員・相談支援専門員
その他8050家庭の支援に関わる方

オンライン・公開

後日、録画配信もあります
(ご希望の方は、下記のフォームより
お申し込みください)

申し込み

下記よりフォームの入力お願い致します



<https://forms.gle/v5476VqAjRzPKfmA9>

問い合わせ

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター

TEL:043-445-7733

FAX:043-497-2127

MAIL:chuo-kikan@cckikan.or.jp

担当:伊藤

専門職向け勉強会 (7月)

8050問題の基本理解と

支援者連携について (オンライン)

- ◆ 講師:大正大学名誉教授 近藤直司先生
- ◆ 対象:あんしんケアセンター職員・ケアマネージャー
各区基幹センター職員・相談支援専門員
その他8050家庭の支援に関わる方
- ◆ 参加者:92名

付帯条件に対する取り組みについて

1. 市関係部署と連携・協力し、事業に取り組むこと

- ・市民向け講演会について、地域振興課の協力を頂き、中央区自治会長宅へ案内を送付することができた。そのおかげで、11地区の方から連絡を頂き、回覧板にて配布して頂けた

- ・市民向け講演会へ千葉市の後援を頂いた

- ・市民向け講演会・座談会に、行政からとして中央区健康課の方にも登壇して頂いた

- ・8050家庭のケースの相談を、行政からも頂くようになった

3年間の振り返り

- ・市民向け講演会では、多くの方が関心を寄せていることを感じた
- ・当初は、解決スキーム作りを目指して活動をしたが、個別性が強く、一筋縄ではいかないことがわかった
- ・早期発見を目指したが、なるべく隠しているご家庭も多く、どこに重点的に周知したらいいのかわかるところまではいかなかった
- ・この3年間でお互いの顔の見える関係ができ、一つのケースを複数事業所で、同じ方向を向いて連携することができるようになった
- ・連携の重要性を強く理解するようになり、たとえ対象ではないケースの方が相談に来たとしても、必ず必要な支援につなげられるようになった

仕事・お金

① 千葉市 生活自立・仕事相談センター

「仕事が長続きしない」「仕事に就く自信がない」「生活で悩みがあるが、どうしたら良いか分からない」など、生活に困りごとや不安を抱えている方の相談をお受けします。

☎ 中央 043 - 202 - 5563

月曜日～日曜日
(祝・休日および年末年始除く)

8:30～17:30

必要に応じて、中央区以外のお近くのセンターをご案内します。

困ったら、まずはここ

② 千葉市 障害者基幹相談支援センター

障害についてのワンストップの総合相談窓口です。生活の困りごと、障害福祉の制度のこと等幅広く相談をお受けします。障害があっても、なくても相談をお受けします。

☎ 中央区 043 - 445 - 7733

月曜日～土曜日
(祝・休日および年末年始除く)

9:00～17:00

緊急の電話は、24時間、365日対応。必要に応じて、中央区以外のお近くのセンターをご案内します。

ひきこもり

③ 千葉市 ひきこもり地域支援センター

「ひとりでずっと悩んでいる」「家から出ることができない」などのお悩みのあるご本人、ご家族等の相談窓口です。

☎ 043 - 204 - 1606

月曜日～金曜日
(祝・休日および年末年始除く)

9:00～17:00

わたしたちが チームでお手伝いします

障害のある方の仕事

④ 障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター

働きたい障害のある方、障害が疑われる方のご家族や関係者の方からの相談をお受けします。各機関との連携による準備訓練等の提案、就職活動の支援(ハローワーク同行、職場見学、実習)、就労後の定着支援を行います。

☎ 043 - 204 - 2385

月曜日～金曜日
(祝・休日および年末年始除く)

9:00～17:00

高齢者

⑤ 千葉市 あんしんケアセンター

高齢者のみなさんやご家族、近隣の方などの、介護に関する悩みやその他の色々な問題に対応します。

【中央区内】

☎ 東千葉 043 - 216 - 2131

☎ 中央 043 - 216 - 2121

☎ 千葉寺 043 - 208 - 1222

☎ 松ヶ丘 043 - 420 - 8325

☎ 浜野 043 - 305 - 0102

それ以外の地域は、こちらにお問合わせください。千葉市保健福祉局健康福祉部地域包括ケア推進課

☎ 043 - 245 - 5168

仕事・仲間

⑥ ちば 地域若者サポートステーション

15歳から49歳までの現在無業の方を対象に、週20時間以上の就労を目指す支援をしています。個人面談とグループワークで就職に必要な力をつけ、職場体験などをし、就職まで継続的な支援をします。

☎ 043 - 351 - 5531

火曜日～土曜日

9:00～16:00

今後の課題

- ・8050家庭を発見した時に、どのような関わりがあるのかがわかるような、事例集のようなものができるといいのではないか。

- ・8050以外にも、704010問題、6060問題、など
社会の支援を得られない孤立家庭の問題についても考えたい

ご清聴ありがとうございました

千葉市中央区80・50を考える会講演会

それぞれのきっかけ～事例をもとに～

アンケートまとめ

令和5年10月19日

参加人数など



◆ 参加人数

会場88人(スタッフ33人)、

オンライン 64人

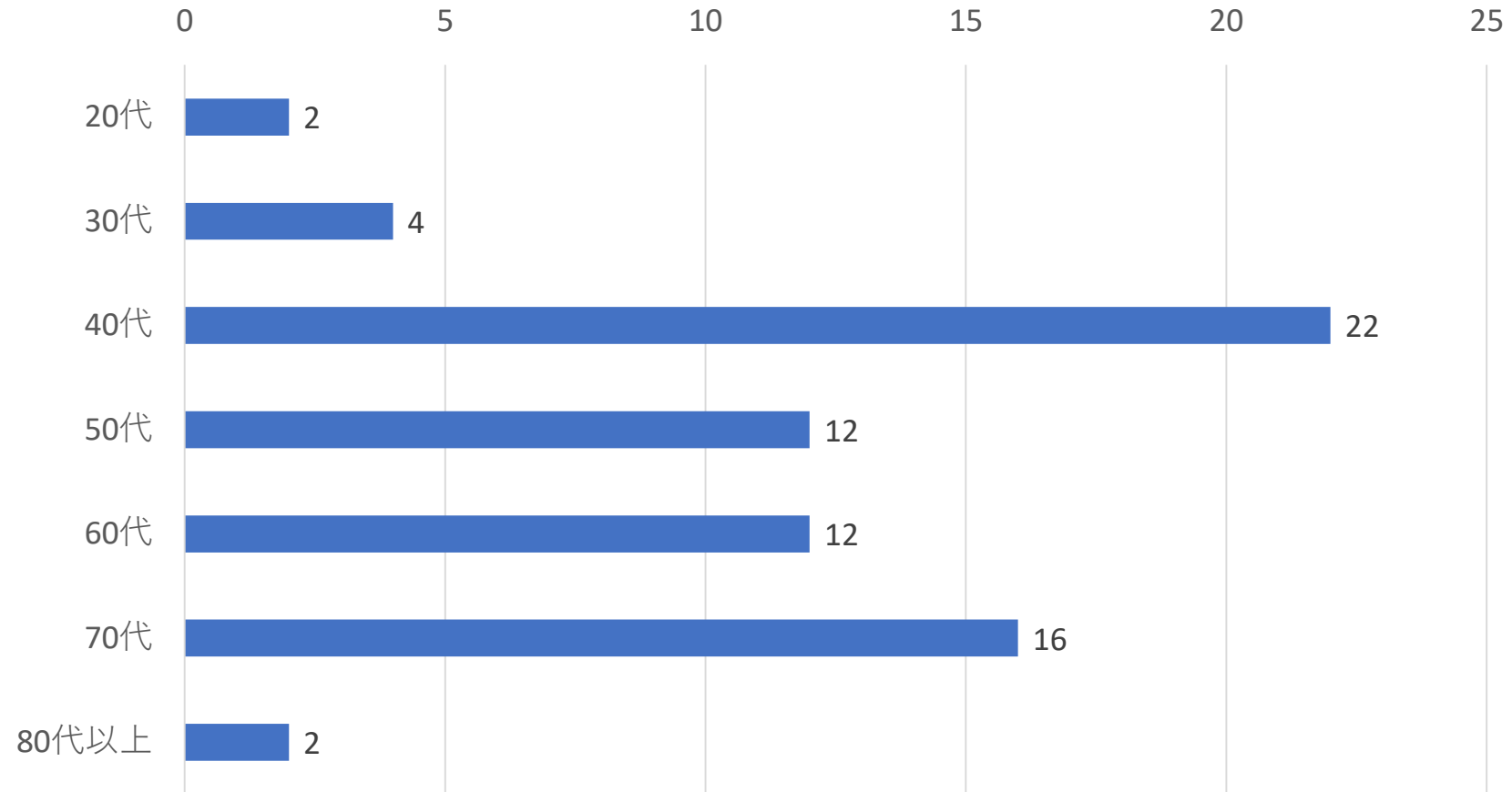
【合計152人】

◆ 個別相談

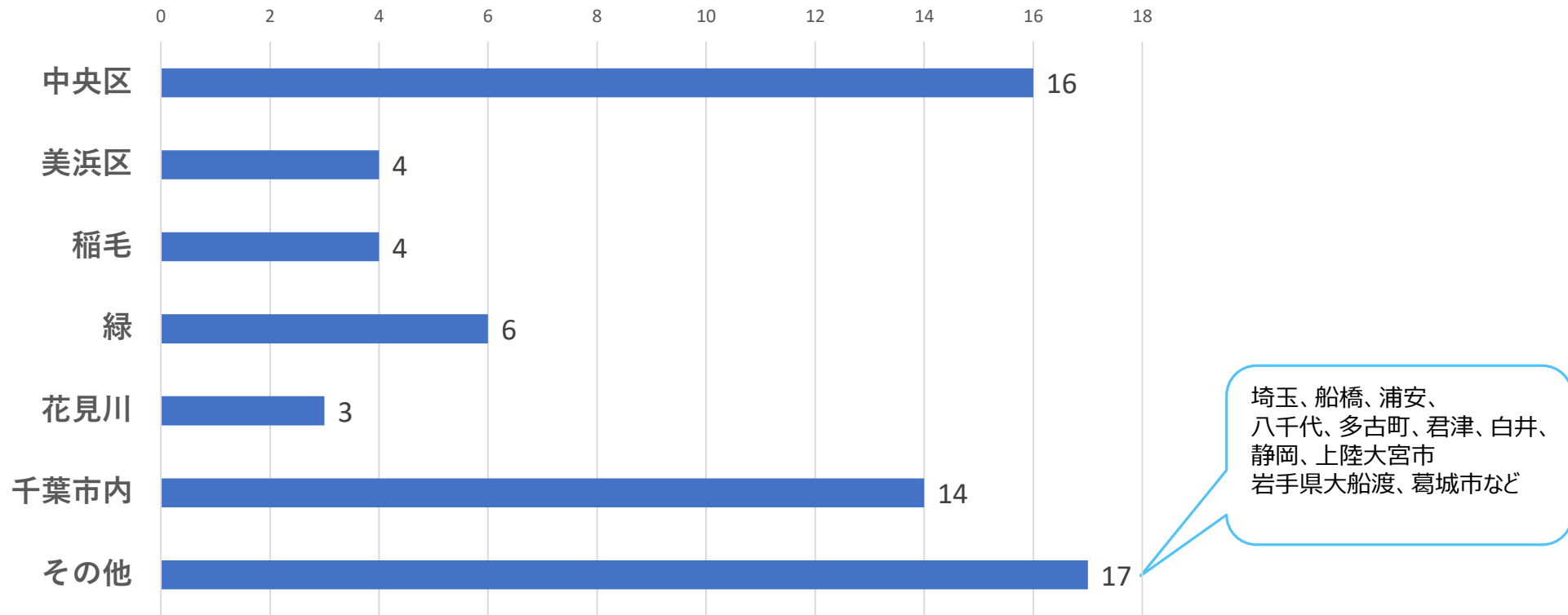
千葉県ひきこもり地域支援センター 2人

中央区障害者基幹相談支援センター/千葉県障害者キャリアセンター 1人

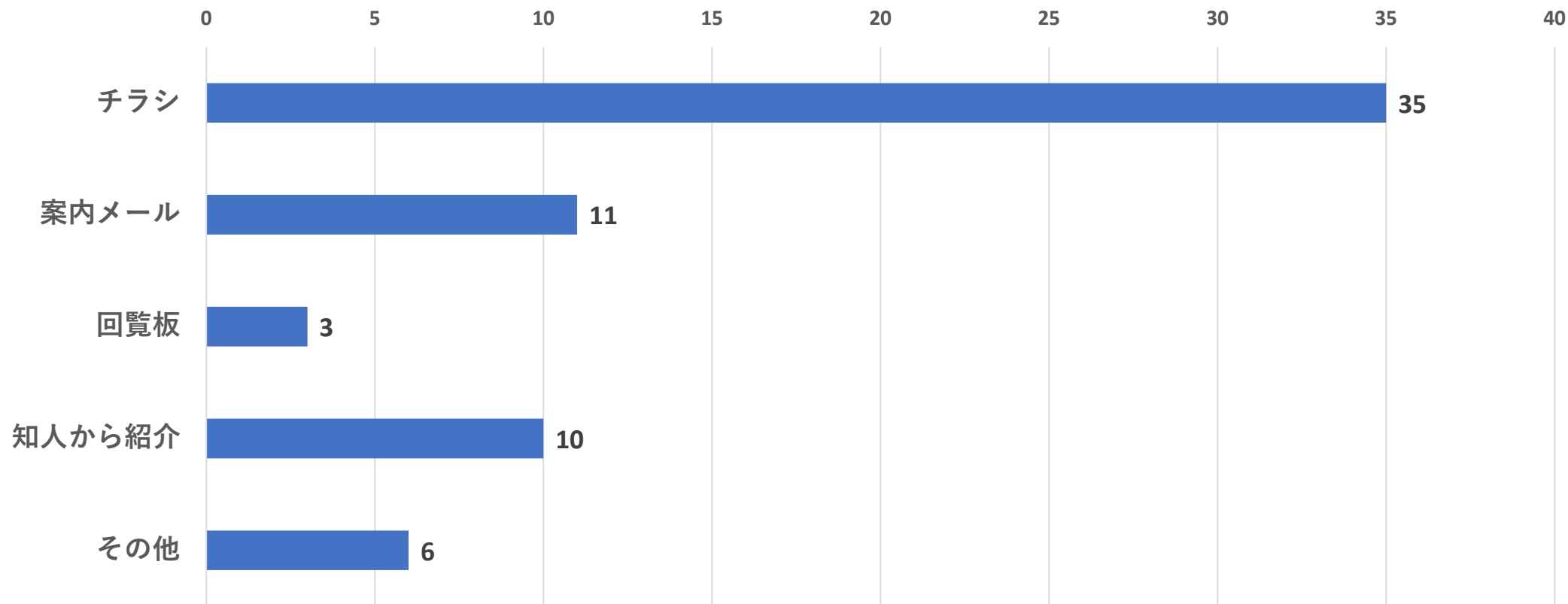
参加者の年齢



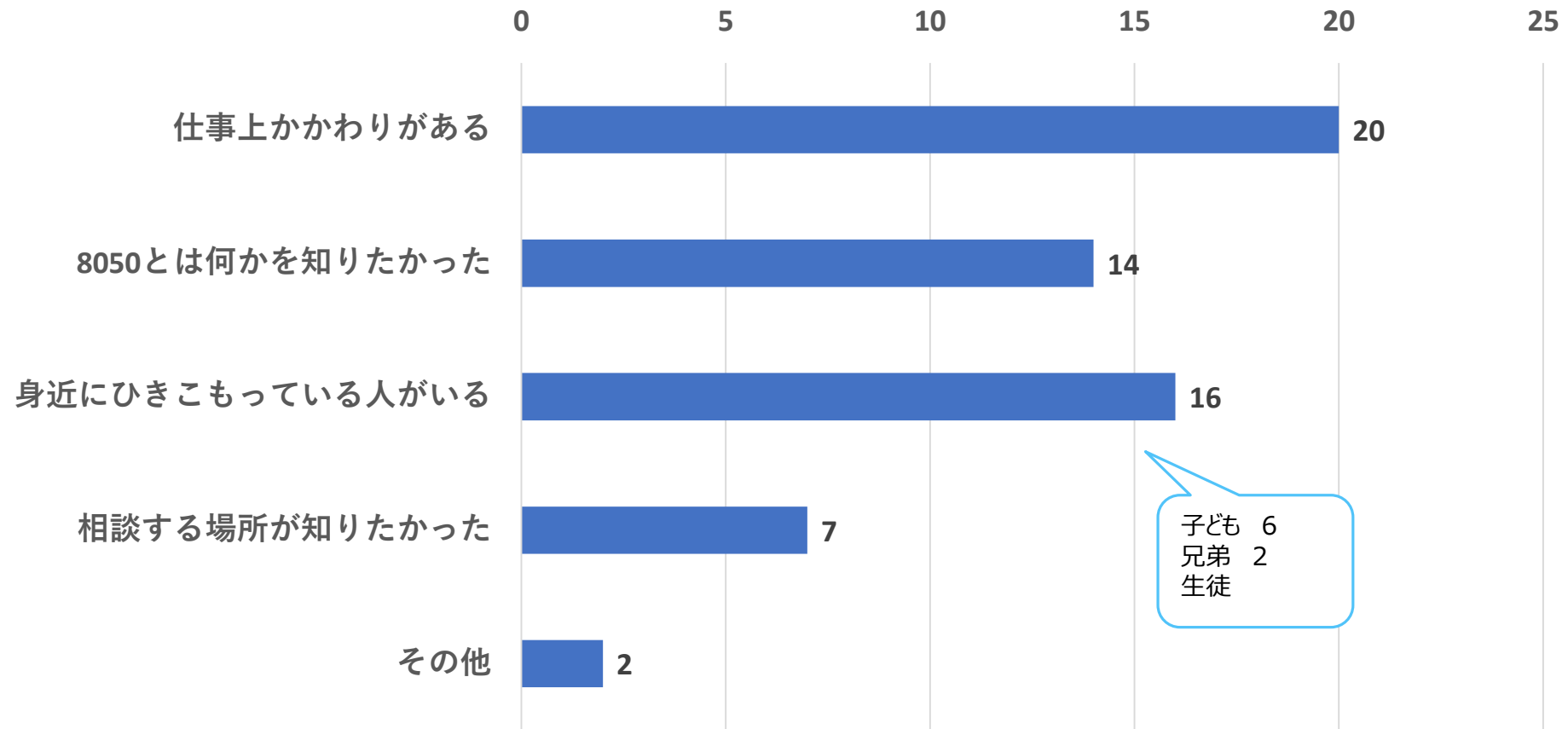
参加者の住所



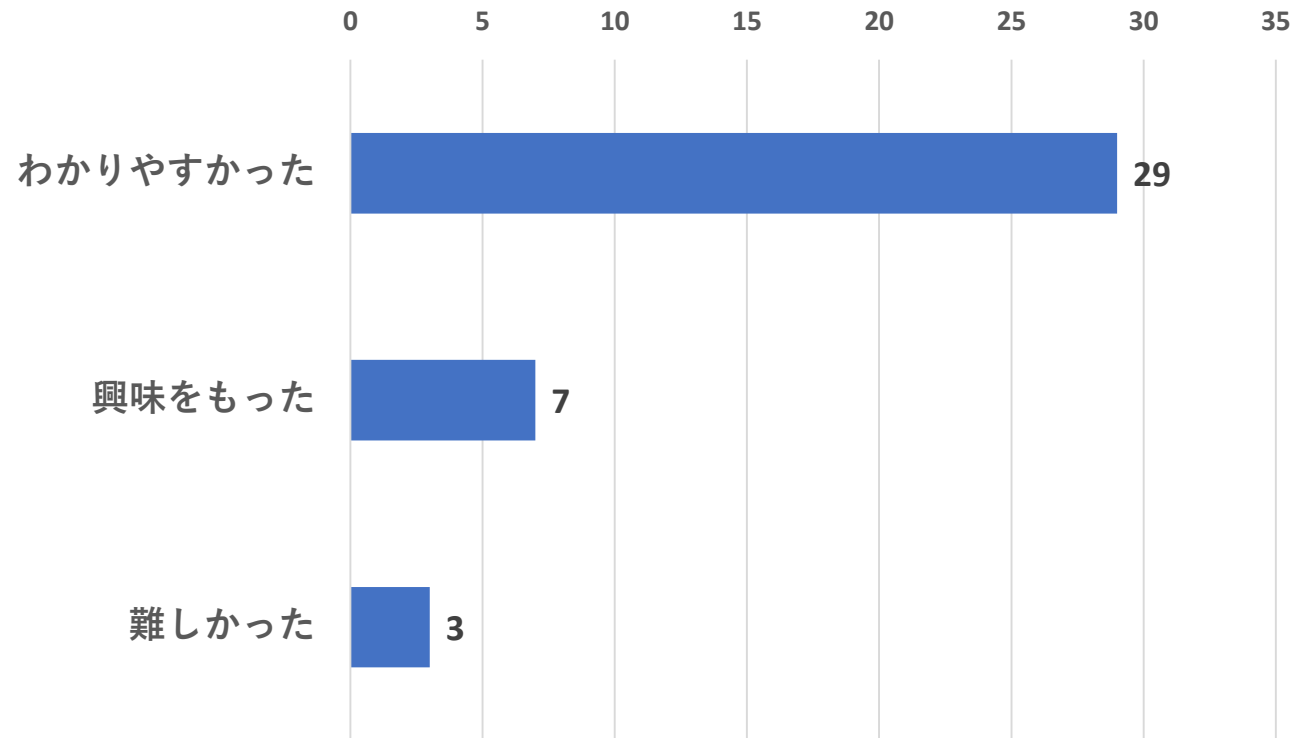
講演会を何で知ったか



参加のきっかけ



第1部 講演の感想



第1部 つながるきっかけ～事例をもとに～

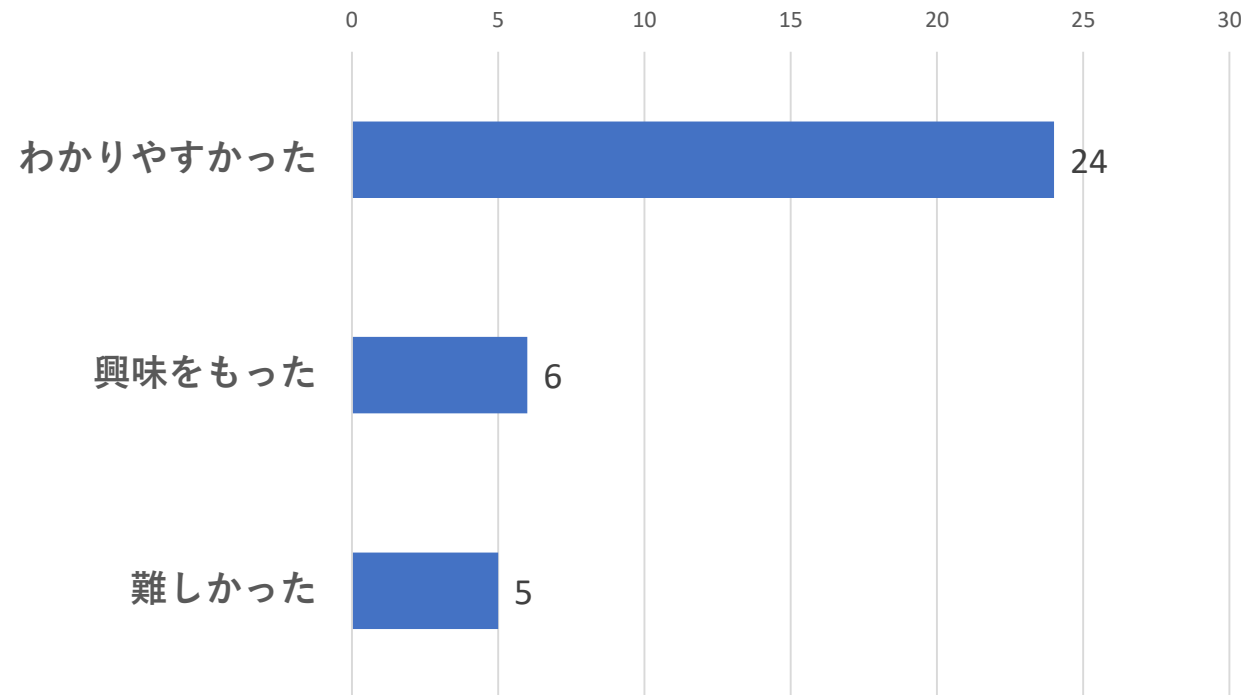
千葉県ひきこもり地域支援センター 平田智子氏

・分かりやすい講演でした。ひきセンのスタッフが根気よく関わる様子を事例からうかがうことが出来、よかったです。ケアマネとしてただ紹介、だけでなくつなぐ大切さも教えられました。

・NPOでこのような機関があることが素晴らしく、また本日の参加機関の皆さんの内、どこかの部署にでも相談があれば、ケースに応じて必要な機関と連携して、粘り強く支援しておられることが良くわかりました。

・ご本人の思いを尊重するというをととても大事にされているのがよくわかりました。ご家族のご本人とのかかわりにおいて、つい上から物事を言ってしまうというのは往々にしてあることであると思いますが、そこを少し変えることで家族の一員として認められているというご本人の安心にもつながっているのではと学びました。そして、まずは相談をするということにつながられるかが大切な点であるということがわかりました。

第2部 講演の感想



第2部 8050問題とスティグマ～なぜ支援を拒否するのか～ 千葉県こころの健康センター所長 稲生英俊氏

スティグマという社会全体で作られている障壁があるのだと学べた。

50代の子供の将来を心配する親が、無自覚に持っている価値観が、子供に投影されているように思えました。

スティグマの視点から説明して下さり、拒否＝困難ケースに落ち入りやすいところで、困難になる紐解きと同時に、支援のコツがわかり大変参考になりました。

セルフスティグマの対処法で、仲間・場所又ネットでとの話が良かった。でも、自分の子供とどうつなげていけばいいのかと思う。それぞれのセンターと横に繋がっている事に安心感を持ちました。

知りたい・聞いてみたいテーマ

- ・当事者（本人）や家族の声を聞く機会
- ・ひきこもりをなくすにはどうしたらよいか
- ・不登校、児童のひきこもりについて
- ・8050の方の経済的な支えや手続きなど、金銭面・経済面の自立について
- ・福祉まるごとサポートセンターの活動や対応事例など聞ける機会があれば良いと思います。
- ・他機関連携で対応した事例、事例の詳細などを聞きたい
- ・精神疾患について

感想

・ 8050問題に不安を持ち講演会に参加させていただきました。今後、具体的にどのように動いたら良いのかはまだ分かりませんが、いろいろな支援がえることが分かり、参考になりました。

・ 関係機関との顔の見える関係づくりは、ケースの課題を紐解く一助になるだけでなく、自分の財産だな…と改めて強く感じる事ができた。

・ 70～80代位と見受けられる方の参加者が多くいらっしまったことが印象に残ります。多くのひきこもり8050案件を担当していますが、難しさを感じています。今回参加した事で、今まで知らなかった基幹相談支援センターの対象者、機関（千葉市在宅医療、介護連携支援センター）や各対象者がどんな方かを知ること出来たことは収穫でした。ターニングポイントというのは本人（当事者）に困り感が生まれた時なのかと感じました。